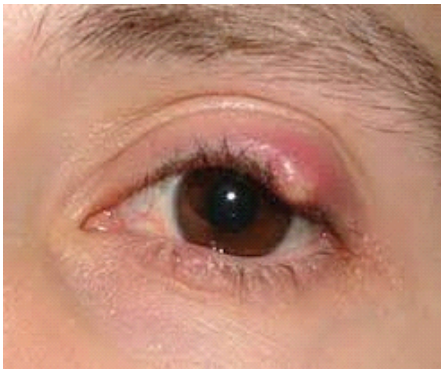


## 霰粒腫（さんりゅうしゅ）について



まぶたにある脂腺の出口がつまり、炎症が治らない結果、しこりができる病気です。

小さいものは自然に消えていくこともありますが、大きいものはなかなか吸収せず、**長引くこともよく**あります。



皮膚がうすくなり、裂けそうです。

急性期では炎症もあり、薬物治療で抑えるようにしますが、点眼や軟膏でよくならない場合は皮膚が赤く薄くなり、**裂けてしまう前に**切開手術をしたほう

が良いです。

局所麻酔で切開後、膿を除去し、皮膚からの場合は縫合し、一週間後に抜糸します。

　　瞼の裏側から切開する場合は縫合、抜糸は不要です。